

Home
ホーム

Symposium
開催概要

Program
プログラム

History
過去のシンポジウム

Application
参加申込

Access
アクセス



『GAP実践と農産物バリューチェーン』

お知らせ Topics

2017-1-29 プログラムを更新しました。
詳細は[こちらから](#)。

2016-10-13 2016年度GAPシンポジウムの参加受付を開始いたしました。
詳細は[こちらから](#)。

2016-10-13 2016年度GAPシンポジウムの開催概要を更新いたしました。
詳細は[こちらから](#)。

開催スケジュール

2017年2月16日(木)～17日(金)

東京都文京区弥生1-1-1

東京大学農学部内 東京大学弥生講堂 (東京都文京区)

プログラム

プログラムを更新いたしました。
詳細は[こちらから](#)。

参加申込

お申込みは、FAXまたは[申し込みフォーム](#)にて受付。

[▲ ページのトップへ戻る](#)

[ホーム](#) [開催概要](#) [プログラム](#) [過去のシンポジウム](#) [参加申込](#)

2016年度GAPシンポジウム事務局

Copyright© 2022 Japan Farmers GAP Association All Rights Reserved.

Home ホーム	Symposium 開催概要	Program プログラム	History 過去のシンポジウム	Application 参加申込	Access アクセス
-------------	-------------------	------------------	----------------------	---------------------	----------------

開催概要

名 称	2016年度GAPシンポジウム
日 程	2017年2月16日(木)10:50-17:30 ~ 17日(金)9:20-16:30
開 催 地	東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内 東京大学弥生講堂 (東京都文京区)
参加費(資料代)	<ul style="list-style-type: none"> ・主催・共催会員：10,000円 ・一般：15,000円 ・学生：2,000円 ・情報交換会参加費：3,000円
展 示	企業等による情報展示（開催期間中） <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本電気株式会社 ・ 株式会社ベジテック 理化学分析センター ・ SGSジャパン株式会社

2016年度GAPシンポジウム

主 催	一般社団法人 日本生産者GAP協会
共 催	農業情報学会 特定非営利活動法人水産衛生管理システム協会 一般社団法人GAP普及推進機構 特定非営利活動法人経済人コー円卓会議日本委員会
後 援	
事務局	(一社)日本生産者GAP協会 教育・広報委員会、(株)AGIC大会事務局
対 象 者	農業試験研究者、農業普及関係者、大学・大専校、農業高校、農業生産者、農業法人、農協、出荷組合、産直団体、農林行政機関、卸売市場、卸売会社、農産加工会社、農産物流通・小売企業、外食企業、消費者、調査・検査・認証機関、研究機関、その他
テーマ	『GAP実践と農産物バリューチェーン』
開催趣旨	<p>世界共通の課題である「持続可能な社会づくり」は、農業の価値観も変えることになり、グローバル社会で期待される農産物の品質も変化しています。EU夏野菜の基地であるスペイン・アルメリアの農業関係者は、これまでの「姿かたち、味、鮮度」に加えて、「農産物の特性、フードセーフティ、生産方法、トレーサビリティ、環境への取組み、社会的責任などの認証」が重要な要素であると考えています。そのために行う事は、生産者に対するGAP教育と、生産組織によるGAP農場の統一的な管理です。農協では、最終利益の増大という目標に向けて、生産現場を含んだ全体を統合的に管理する「農産物バリューチェーンを構築し、家族経営の枠を超えた組織としての一貫したコスト計算や、作業の機能配分の合理化などにより、「農業分野における最終利益を増大させることを目標にしています。アルメリアと同じように零細農家がほとんどの日本の農業経営体が、どうすれば農産物バリューチェーンを構築できるのか、先進事例に学び、実現の手法について議論を深めます。</p>

▲ ページのトップへ戻る

ホーム 開催概要 プログラム 過去のシンポジウム 参加申込

2016年度GAPシンポジウム事務局

Home
ホームSymposium
開催概要Program
プログラムHistory
過去のシンポジウムApplication
参加申込Access
アクセス

2016年度GAPシンポジウム

プログラム

▶ 2月16日

▶ 2月17日

▶ 展示

プログラム：2月16日(木)

農産物の輸出増大と2020年五輪を見据えた農産物バリューチェーンの構築

10:00～ 10:55	受付	
10:50～ 11:00	開会	
11:00～ 12:00	基調講演： 「スペインで農産物バリューチェーンを探る」	日本生産者GAP協会・理事 長 田上隆一
12:00～ 13:00	昼休憩／情報展示	
13:00～ 14:00	特別講演： 「ロンドンオリンピックの食品調達基準"レッドトラクター" ～消費者の英国食品への信頼を回復するために～	藤原百合恵（英国在住・ビ ジネスコンサルタント）
＜日本で取り組まれている農産物バリューチェーンの事例＞		
14:00～ 14:40	講演： 「卸売会社が取組む農産物バリューチェーン」	㈱ベジテック 碧井真
14:40～ 15:00	休憩／情報展示	
15:00～ 15:40	講演： 「人と海を結ぶ、新大船渡魚市場の建設」	大船渡魚市場㈱ 専務取締 役 佐藤光男
15:40～ 16:20	講演： 「農商工連携による遠野まちづくりの実践」	NPO法人 遠野山・里・ 暮らしネットワーク・会長 菊池新一
16:20～ 17:00	講演： 「農産物直売所から学ぶ新たな農産物バリューチェーン」	みずほジャパン 井戸英二
17:00～ 17:30	講演： 「スペイン視察ツアー報告」	日本生産者GAP協会・理 事事務局 長 田上隆多
17:40～ 19:30	『情報交換会』	

プログラム：2月17日(金)

GH評価制度に基づくGAP推進体制の構築

9:00～ 9:10	受付	
＜GH評価制度に基づくGAP推進の事例＞		
9:20～ 10:20	講演： 「GH評価制度における教育プログラムとGH評価員試験について」	日本生産者GAP協会・理 事事務局 長 田上隆多
10:20～ 11:15	講演： 「GAPの原則とGAP実践の法則」	日本生産者GAP協会・理 事長 田上隆一

11:20～ 12:00	事例発表： 「栃木県のGAP推進について」	栃木県農政部経営技術課 菊池克利
12:00～ 13:00	昼休憩／情報展示	
13:00～ 13:40	事例発表： 「岐阜県稲作経営者会のGH評価への取組みについて」	岐阜県農業会議 松浦勇生
13:40～ 14:20	事例発表： 「若手普及員とJA営農指導員によるGH評価試験への挑戦」	福井農林総合事務所 農業 経営支援部技術経営支援課 菅江弘子
14:20～ 15:00	事例発表： 「生産者によるGLOBALG.A.P.内部検査の実施と販売戦略について」	静岡県温室農業協同組合ク ラウンメロン支所 佐野英 敏
15:20～ 16:30	『全体討議（パネルディスカッション）』	2日目発表者、司会：田上 隆一
16:30	閉会	

展示

- 日本電気株式会社
- 株式会社ベジテック 理化学分析センター
- SGSジャパン株式会社

[▲ ページのトップへ戻る](#)

※内容につきましては、変更になる場合もございますので、その旨ご容赦下さい。

※講演内容、時間は進行上の都合により変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。（敬称略）

[ホーム](#) [開催概要](#) [プログラム](#) [過去のシンポジウム](#) [参加申込](#)

2016年度GAPシンポジウム事務局

Copyright© 2022 Japan Farmers GAP Association All Rights Reserved.